



アスンシオン通信

日付: 2024 年 8月12日 no.11

発行者: 田邊紘起

ここは日本？ 驚き連続の町にいざ！

オラ アトドス ケ タル
Hola a todos! Que tal? (やあ、みんな!調子はどう?) 日本はそろそろお盆ですね。みなさん、夏休みを元気に過ごしていますか。

パラグアイには数十年前から日本人が集団で移住し、未開地を開拓して農業をしている場所がいくつかあります。先日、その一つの「イグアス移住地(いじゅうち)」へ行ってきました。首都のアスンシオンから東にバスで4時間半ほど走ったところにある町で、今は住民の半分が日系

人だそうです。現地に住む方に町内を案内してもらい、移民資料館に行って、日本人がなぜここに移住してきたか、どんな苦勞をして未開地を開拓し、農作物を育てることができるようになったか等、説明してもらいました。町の雰囲気はのんびりしていて、みんなあたたかい感じですよ。でも、開拓時代の話を知ると、パラグアイに移住した日本の人々は、大変な苦勞をしてこの国の農業を発展させたんだということが分かりました。町の中心には大きな鳥居やお寺があり、農協（日本のJAと同じ）もありました。あちこちに日本語の看板があって住民は普通に日本語で会話しているので、一瞬パラグアイにいることを忘れてしまいそうです。農協の売店には日本で食べたことがあるアイスクリーム（韓国でつくられたもの）もあり、懐かしくなって思わず買って食べてしまいました。ちょっと昔の日本の雰囲気が味わえるテーマパークのようで、地球の裏側のもうひとつの日本に心がいやされました。



【町の中心にある鳥居とお寺＝イグアス移住地】



【売店の冷凍庫には日本語の注意書き。その中に「雪見だいふく」そっくりの韓国製アイスクリーム「I'm Mochi(わたしはもち)」=イグアス農協】

絃起先生への質問コーナー

Q:パラグアイで一番おいしかった食べ物は何ですか。(4年Mさん)

A:パラグアイの食べ物はどれもおいしいです。肉料理の種類が多く、お菓子は日本のものより甘めです。大きなギョウザのような形で、中にいろいろな具材をパンパンにつめて焼いたり揚げたりする「エンパナーダ」という食べ物がとてもおいしくて、種類もいろいろあります、次の写真はお店で売られているエンパナーダです。味や具材の種類については、またいつか食レポしたいと思います。



【いろいろな種類のエンパナーダ】

Q:毎日の食事はどうされていますか。(T先生)

A:国や環境が違う場所では食事に困るのではと想像されるかもしれませんが、本来ならパラグアイの食事スタイルを習えばいいのかもしれませんが、我が家の食事は基本的に和食です。ご飯やみそ汁とおかずを作ります。日本のレシピサイトを見ながら毎食せっせと作っています。昼もご飯のお弁当を作ります。野菜は日本と同じようにスーパーで買うことができるし、味噌やお米を売っている店もあるので、食事については日本にいた時とほとんど変わりません。外食は基本的にしません。アスンシ

オンにもラーメン屋さんやお寿司屋さんがありますが、日本のものとは味が違うので、日本に帰った時に食べるのを楽しみにしています。では次回まで、Chao chao!

スペイン語・グアラニー語ひとこと講座

Si(スィー) : はい

日本語の「はい、いいえ」はスペイン語では「Si(スィー)、No(ノー)」と言います。「No」は英語と同じですね。

次回について

今回は、日本では見かけないアスンシオンの生き物たちを紹介します。